

## 5月9日 リスクアセスメント表

2011年5月9日

		もともとの発生率または報告数:地域(1)、全国(2)	ワクチン接種率:地域(1)、全国(2)	地域・避難所で流行する可能性 1 = 低; 2 = 中; 3 = 高	公衆衛生上の重要性(罹患率・死亡率・社会的) 1 = 低; 2 = 中; 3 = 高	リスク評価 1 = 低リスク; 2 = 中リスク; 3 = 高リスク	コメント
<b>水系/食品媒介感染症</b>							
	急性下痢症			3	2	3	避難所にてノロウイルス感染症の集団発生が報告されている。
	細菌性腸管感染症(サルモネラ、キャンピロバクター、病原性大腸菌など)			2	2	2	
	A型肝炎			1	2	1	
	E型肝炎			1	2	1	
<b>動物/昆虫/ダニ媒介感染症</b>							
	レプトスピラ症			1	2	1	淡水、土壌曝露時に発症しうる
	ツツガムシ病			2	2	2	春～初夏と秋～初冬の2回ピークがある。野外活動に伴って感染し、3月下旬以降、東北地方の複数の県で発症例が報告されている。
<b>過密状態に伴う感染症</b>							
	急性呼吸器感染症			3	2	3	高齢者を中心に避難所からの報告は多い。病原体は多様と考えられる
	インフルエンザ/インフルエンザ様疾患			3	3	3	避難所での発生が報告されており、また連休前には北東北などの避難地域においてもB型を中心にインフルエンザが再流行の兆しがあった。
	結核**			2	2	2	避難所に居た高齢者で発症例が報告されている
<b>ワクチンで防ぐことのできる感染症</b>							
	麻疹			3	3	3	首都圏を中心に第15週以降、麻疹の報告が急増している。麻疹は非常に高い感染力、重症度を有するため、若年成人を含め2回の麻疹含有ワクチン接種を完了していない者等においては、ボランティアとして避難所を訪問する際には、その前に接種歴等の確認を行い、接種後に被災地に向かっていたきたい。
	風疹			2	1	1	
	ムンプス			2	2	2	
	水痘			2	2	2	避難所に居た小児で発症例が報告されている
	破傷風*			2	3	3	外傷後、土壌曝露後に発症しうる
	百日咳			2	2	2	
<b>皮膚感染症</b>							
	疥癬			1	2	1	
	白癬などの真菌感染症			2	1	1	
<b>その他</b>							
	血液媒介疾患(B型肝炎/G型肝炎/HIV)			1	2	1	体液曝露時に感染しうる
	創傷関連感染症*			2	2	2	
	細菌性髄膜炎、ウイルス性髄膜炎			1	2	1	

\*救助やがれき撤去時においてもリスクが高い

\*\*急性期以降に問題となりうる

(注)津波発生から長期間が経過し、追加症例報告もないためレジオネラ症は削除した